

桐朋学園大学 大学院音楽研究科音楽専攻 修士課程

2027 年度入学試験に関する試験科目一覧および出題意図は以下のとおりです。

— 試験科目一覧 —

◇修士課程 A 日程・B 日程

志望専攻	書類審査	音楽史試験 (西洋音楽史)	外国語試験	口述試験	小論文	実技試験
ピアノ	○	○	○	○	—	○
弦楽器	○	○	○	○	—	○
声楽	○	○	○	○	—	○
室内楽 (A 日程のみ)	○	○	○	○	—	○
作曲	○	○	○	○	—	* 1
音楽学	○	○	○	○	○	—
ソルフェージュ 教育	○	○	○	○	* 2	○

* 1 出願時に作曲作品を提出

* 出願時に小論文を提出

◇修士課程 (外国人留学生)

志望専攻	書類審査	作品提出	口述試験	小論文	実技試験
ピアノ	○	—	○	—	○
弦楽器	○	—	○	—	○
声楽	○	—	○	—	○
作曲	○	○	○	○	—
音楽学	○	—	○	○	—

◇修士課程 (秋期)

志望専攻	書類審査	音楽史試験 (西洋音楽史)	外国語試験	口述試験	小論文	実技試験
ピアノ	○	○	○	○	—	○
弦楽器	○	○	○	○	—	○
声楽	○	○	○	○	—	○
音楽学	○	○	○	○	○	—

— 出題意図 —

◇修士課程 A 日程・B 日程 ◇修士課程（秋期）

試験科目		出題意図	備考
書類審査		これまでの学修や活動履歴を把握し、音楽を中心とした学修や研究に対する資質を確認します。	
小論文	音楽学コース	専門に関わる小論文の内容から、探求意欲について確認します。	
	ソルフェージュ教育コース	出願時に「ソルフェージュ教育についての考察」と題した小論文を提出します。記載内容から、探求意欲について確認します。	
音楽史試験（西洋音楽史）		音楽を専門とする者に必要な知識力を判定します。	
外国語		英語・独語・仏語・伊語から1カ国を選択します。音楽研究科での研究に必要な語学力を判定します。	※音楽学コース志願者は伊語の選択はできない
口述試験	ピアノ・弦楽器・声楽・室内楽コース	出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行い、本学で研究するために必要な専門的な能力を備えているかを判定します。	※室内楽コースはA日程のみ
	作曲コース	提出された作曲作品及び「研究計画書」等に基づく口頭試問を行い、創作意図と作品の整合性を見る。本学での作曲の授業、論文指導等に必要な意欲や能力を備えているかを判定します。	
	音楽学コース	小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行い、本学で研究するために必要な専門的な能力を備えているかを判定します。	
	ソルフェージュ教育コース	出願時に提出された「小論文」及び「研究計画書」等に基づく口頭試問を行い、本学で研究するために必要な専門的な能力を備えているかを判定します。	
実技試験		専攻する実技の特性を踏まえた課題を審査員の前で演奏することにより、専門的な演奏能力（技術、表現力、解釈）が身についているかを判定します。	

◇修士課程（外国人留学生）

試験科目		出題意図	備考
書類審査		これまでの学修や活動履歴を把握し、音楽を中心とした学修や研究に対する資質を確認します。	
作品提出		提出された作品から、楽器法、記譜法、楽曲構成法などの習熟度や表現力を判定します。	※作曲コースのみ
口述試験	ピアノ・弦楽器・声楽コース	出願書類「研究計画書」等に基づく口頭試問を行い、本学で研究するために必要な専門的な能力を備えているかを判定します。	
	作曲コース	提出された作曲作品及び「研究計画書」等に基づく日本語による口頭試問を行い、創作意図と作品の整合性を見る。本学での作曲の授業、論文指導等に必要な意欲や能力を備えているかを判定します。	
	音楽学コース	小論文及び出願書類「研究計画書」等に基づく日本語による口頭試問を行い、本学で研究するために必要な専門的な能力を備えているかを判定します。	
小論文	作曲コース	与えられたテーマについて日本語で記述し、その内容から、探求意欲について確認します。	
	音楽学コース	専門に関わる小論文の内容から、探求意欲について確認します。	日本語または英語による
実技試験		専攻する実技の特性を踏まえた課題を審査員の前で演奏することにより、専門的な演奏能力（技術、表現力、解釈）が身についているかを判定します。	